

令和3年第12回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和3年12月21日(火)
午後1時32分から午後2時16分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄
教育長職務代理者 吉 川 明 彦
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子
委 員 安河内 由 香

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	金 子 等	次長兼教育総務課長	内 藤 光 重
社会教育課長	奥 富 悟	スポーツ振興課長	奥 富 喜 和
学校教育部長	伊 藤 秀 一	次長兼教育指導課長	田 中 義 久
教育センター所長	稲 葉 正	書 記	神 田 崇 広

会議の公開・非公開 公開

傍聴者数 0名

報告事項

- ・令和3年第4回狭山市議会定例会の概要について

報告者 (生涯学習部長)
(学校教育部長)

(要旨)

会期は、11月26日(金)から12月14日までの19日間であり、議案は、人事案件1件、一部改正条例13件、指定管理3件、補正予算2件、市道認定1件、市道廃止1件の合計21件である。

一般質問については、13名の通告があり、うち教育委員会関係は5名であった。三浦和也議員からは水野公民館等の複合施設について、笹本英輔議員からは部活動について、千葉良秋議員からは食育の推進について及び学校給食について、猪股嘉直議員からは環境教育について及び広瀬公民館の駐車場について、広山清志議員からはG I G Aスクール構想について、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

・第 67 回狭山市成人式の結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

今回の対象者は 1,473 人であり、学校区別に 3 部に分け開催した。第 1 部は出席者 220 人、出席率は 48.35%、第 2 部は出席者 263 人、出席率は 55.72%、第 3 部は出席者 394 人、出席率は 72.16% であり、全体で出席者 877 人、出席率は 59.54% であった。なお、性の多様性を尊重するため、今回から男女別の報告は行わないこととした。また、動画配信サービスによるライブ配信も行い、視聴者には概ね好評であった旨の報告がなされた。

委員からは、成人式は着物などの日本文化に触れるよい機会でもあり、今後も市主催で実施してほしい旨の要望がなされた。また、ライブ配信を見た人も多くおりよい企画であった旨の感想がなされた。

・令和 3 年度博物館秋期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和 3 年度秋期企画展「金山明博遊画展～マンガ・アニメを友に心の旅 60 年～」については、狭山市在住の絵師金山明博氏が描いたアニメ関連作品等の展示であり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け一部期間を変更し、令和 3 年 10 月 1 日（金）から 12 月 5 日（日）までの 58 日間開催された。入館者数は見込みの 3,000 人を上回り 3,870 人であった。来館者のアンケートでは、「とてもよい」「良い」が回答の約 9 割と好評であった旨の報告がなされた。

・令和 3 年度博物館冬期企画展の開催について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

冬期企画展「収蔵品展 狭山茶と狭山の食文化」については、令和 4 年 1 月 5 日（水）から 2 月 20 日（日）までの間開催する。期間中、「膳椀にみる日本の食文化」と題した特別講座も行われる旨の報告がなされた。

・第 39 回狭山市文化財防火デー防火訓練について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

文化財防火デーは、文化庁、消防庁の主唱により、法隆寺金堂壁画が焼損した日に当たる 1 月 26 日と定められ、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が展開される。狭山市でも令和 4 年 1 月 24 日（月）に慈眼寺の協力を得て訓練を実施する。なお、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、今年度は地域住民の参加はなく、消防職員や文化財所有者等の関係者のみで行う旨の報告がなされた。

- ・狭山台体育館・図書館による情報紙『ちゃちゃ』の創刊及び共通キャラクター「ちゃちゃ丸」の設定について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

情報紙『ちゃちゃ』の発行は、狭山台体育館・図書館の指定管理者であるフレンドシップ狭山台共同事業体の令和3年度から7年度までの指定管理期間に取り組む事業の一環であり、市内公共施設及び同共同事業体が指定管理者として管理運営する他市の公共施設にも配架するものである。また、マスコットキャラクター「ちゃちゃ丸」は、同施設職員が創作したもので、市特産の狭山茶の葉っぱの形を取り入れたものである旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、情報紙は定期的に発行するののかとの質疑に、年4回の季刊発行を予定している旨の答弁がなされた。

- ・令和3年度『中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」』冬季集中講義について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

冬季集中講義は3日間の実施とし、対象者は1年生から3年生であり、実施教科は国語・数学・英語の3教科を予定している旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、参加の申し込み状況はとの質疑に、昨年度は延べ667名の参加があったが、今年度は現在募集中である旨の答弁がなされた。委員からは、夏季講義では学力向上の成果が見られたので、より多くの生徒が参加できるように進めてほしい旨の要望がなされた。

- ・令和3年度狭山市立小中学生英語フェスティバルについて

報告者（教育センター所長）

（要旨）

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止としたが、今年度は、令和4年2月5日（土）に入間川小学校講堂を会場に実施する予定である。例年、グループや個人によるステージ発表とブース形式の英語を使ったアクティビティを行っていたが、今年度は、アクティビティを中止し、感染予防対策を講じながらのステージ発表のみとする。また、2交代か3交代の入れ替え制にし、密集、密接を避けて実施する予定である旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、参観はどのような対応をするのかとの質疑に、今回参加児童生徒の保護者1名の参観を可としている。なお、学校関係者として委員にもご覧いただける旨の答弁がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）
（スポーツ振興課長）

(要旨)

社会教育課関係 3 件、スポーツ振興課関係 1 件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

以 上